

## 八尾徳州会総合病院 整形外科

土肥 義浩

当院は大阪の郊外に位置する救急医療を中心とした徳州会グループの415床の総合病院です。2009年に新築移転しておりまだ新しく綺麗な施設です。診断装置も320列マルチスライスCT、3テスラを含めた3台のMRIを備え、最大18MHzの表在エコーも外来や手術室に備え診療に活用しています。また手術室にはマイクロ顕微鏡や最新32inch 4K vision の関節鏡装置を導入しています。これらを活用して手関節鏡や、鏡視下手根管症開放術、エコーガイド下手術も積極的に行っており、特に手関節鏡に関しては学会等で多数の実績を報告しています。

手外科については2018年から整形外科で専門外来を開始し翌年に専門医研修施設に認定された新しい研修施設になります。症例は多く昨年の手外科手術の実績は全身麻酔の98件とその他麻酔の152件と研修施設として十分な数が確保されています。また病院のある八尾や近隣の東大阪は町工場が多くスポーツも盛んな土地柄で手の外傷も多くあります。労働者やスポーツ選手の早期回復や現場復帰に向けて患者と一緒に取り組む治療はやりがいのある仕事の一つになっています。

教育に関しては作業療法士も含め週一回のカンファレンスと月一回の勉強会を行なっています。当院では1人で多くの症例を経験できますが知識の整理や手技の向上には経験則だけでなく学術参加も重要になります。昨年はアメリカ手外科学会のポスターと国内学会のシンポジウムを含む9件の手外科の学会発表を行い、また開設以来の4年間では3件の手外科論文を上梓しており専門医取得に必要な学術の体制も整えています。



18MHz表在エコー



Leica社製手術用顕微鏡



4K vision関節鏡装置

その他の特徴として当院は特定の大学関連施設ではないことから医師の一般採用をしています。そのため人事や移動等での研修の中断の心配をする必要がありません。また当院は全国にある徳州会病院の中でも整形外科専門医の取得が可能な数少ない施設です。大学やその関連施設以外の研修施設で整形外科から手外科まで一貫した専門医研修ができる貴重な施設となっています。

手外科は局所に限局した医療ですが、その中で骨関節や、神経血管まで含む軟部組織、リウマチ等の炎症性疾患までを扱う多様性のある分野です。多彩な疾患や治療手技はそれぞれにlogicalで深みがあり飽きることがありません。当院で一緒に働きながらこの面白い手の外科学の研鑽を積むことができればと考えています。